

■e-黒板ニュース（第27号）：Ray Barker氏&Stephen Jury氏への独占インタビュー

今号の目次：

=====
1. 速報：Ray Barker氏&Stephen Jury氏への独占インタビュー
=====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。また、配信中止のご連絡も
お願いします。

会員の皆様からの投稿もお待ちしております。
宛先はいずれも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. 速報：Ray Barker氏&Stephen Jury氏への独占インタビュー

(e-黒板研究会の調査を委託している三菱総研の吉村春美さんに、BESAのRay Barker氏
&Promethean Technologies Group LimitedのStephen Jury氏への独占インタビューし
ていただき、そしてその要点をまとめていただきました。速報でお送りします。)

三菱総研の吉村です。

去る11/16(火)「英国における教育用ICT産業の発展の経緯と最新事情」セミ
ナーにて英国教育機器協会(British Educational Suppliers Association:以下BESA)
ディレクターのRay Barker氏とPromethean Technologies Group Limited(以下PT)
CEOのStephen Jury氏にインタビューすることができました。BESAは英国における教育
関連製品及びサービス企業250社から成る業界団体で、PTはBESAの一員として今回の
教育トレード・ミッションに参加しました。

PTは、電子情報ボードで英国内で2番目のシェアを持つ会社であり、Jury氏は英国
の学校における電子情報ボード調達標準仕様策定にも関わられた方です。詳細は、年
度末の報告書の中にも盛り込まれる予定ですが、概略を簡単にご紹介いたします。

○学校向けの魅力的なデモを

普及のためには有効な利用法を提示すること、そのためには、ボードメーカーのデモ
が重要「電子情報ボードを普及させるために必要なことは？」の質問には、真っ先に、
ボードメーカーのデモの重要性を挙げられていました。背景として英国では、政府が学
校に直接ICT関連予算をつけているため、学校へのアピールが重要であること。特に

、教員が電子情報ボードの有効性を体験を通じて、認識することが重要であると指摘さ
れました。

先生方に授業での活用イメージを持ってもらえるよう、日本のメーカーも学校向けの
魅力的なデモのあり方を検討・実施することが必要になるのではないのでしょうか。

○電子情報ボード常設の教室を

すぐ使える環境の実現、そのためには、プロジェクタは天吊りであることが必須電
子情報ボードは、スイッチを入れるだけですぐに利用できる環境である必要がある旨、
指摘されていました。「どこでも使えるように可動式とするよりも、すぐに利用できる
教室を数教室でも用意しておく方が効果的である」とのことでした。

また、影になる部分が少なくなることも、プロジェクタを天吊りとするもののメリ
ットとして挙げられていました。日本では、プラズマによる一体型のボードの普及も
注目されるようですが、価格面の問題や既存設備の有効活用を考えると、改めて検
討してみる価値があると思われます。

○導入後の研修が重要

教員の自信と継続して使う力を支援する、そのためには、導入後の研修が重要「導
入したが使われない」ということを避けるために、研修の重要性も指摘されていまし
た。研修においては、

- 最初は欲張らずに、簡単な操作のみ教え、まず教員に自信を持たせる
- 利用開始後、定期的(1ヶ月～数ヶ月毎)に、より高度な内容について研修を
行う

が重要であるとのことでした。英国では学校向けの電子情報ボードの標準仕様が定め
られていますが、導入後の研修はオプションとされているようです。予算上、オプシ
ョンである研修を受けない学校が多い現状では、電子情報ボードが導入されているも
の、効果的で適切に利用されているケースは少なく、それが問題であると指摘されて
いました。

Barker氏、Jury氏からは、上記以外にも貴重なお話をお伺いしています。また、英国
におけるICT活用に関わる最新のデータ等もお送りいただける予定になっています。
これらの貴重な情報は、年度末に向けて報告書に鋭意まとめていきたいと思ひます。

eknews027.txt

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一、南 仁
e-黒板ニュース メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
e-黒板研究会 ホームページ： <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/>
=====